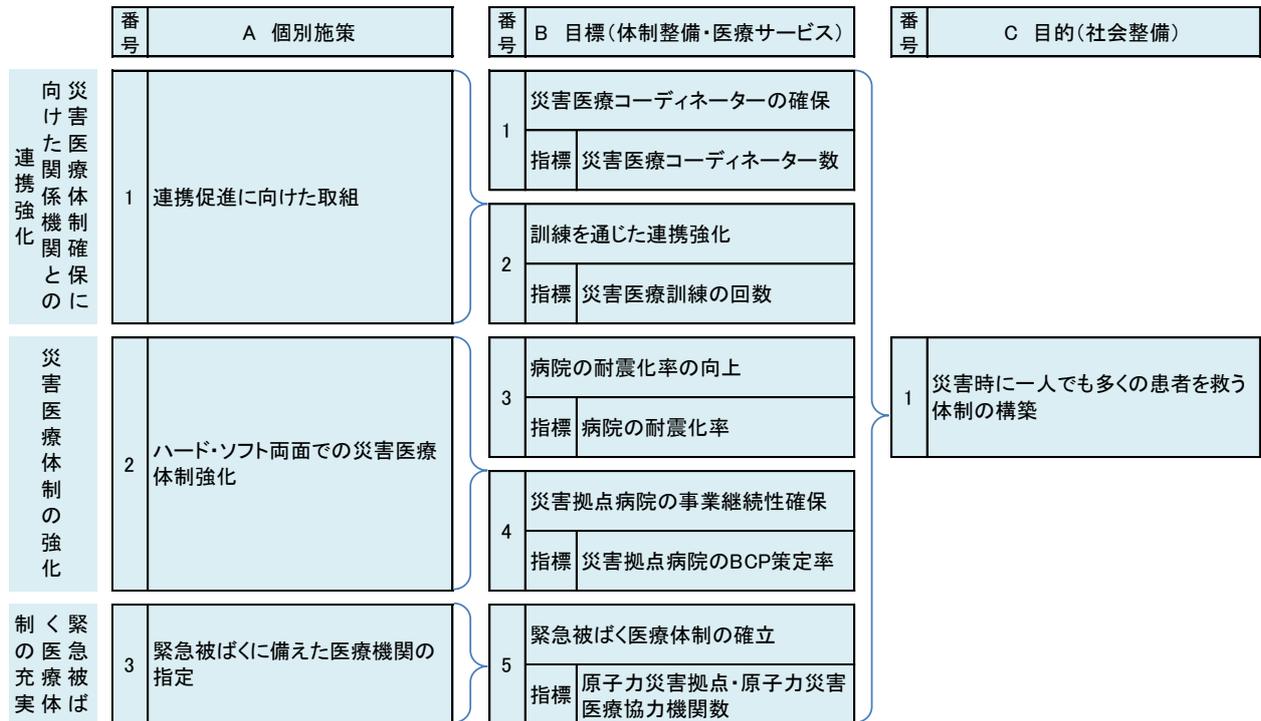


施策・指標マップ



目標値一覧

分類 B:目標	指標	対象年齢	現状		目標値	
			値	出典	2020年度 (中間年)	2023年度 (最終年)
B	災害医療コーディネーター数	—	20人 (平成29年)	大阪府「医療対策課調べ」	50人	100人
B	災害医療訓練の回数	—	1回 (平成28年)	大阪府「医療対策課調べ」	毎年1回以上	毎年1回以上
B	病院の耐震化率	—	59.9% (全国71.5%) (平成28年)	厚生労働省「病院の耐震改修状況調査」	70%	全国平均以上
B	災害拠点病院のBCP策定率	—	36.8% (平成29年)	厚生労働省「災害拠点病院現況調査」	100%	100%
B	原子力災害拠点病院数	—	0病院 (平成29年)	大阪府「医療対策課調べ」	1病院	1病院
B	原子力災害医療協力機関数	—	0機関 (平成29年)	大阪府「医療対策課調べ」	2機関	2機関

ロジックモデル

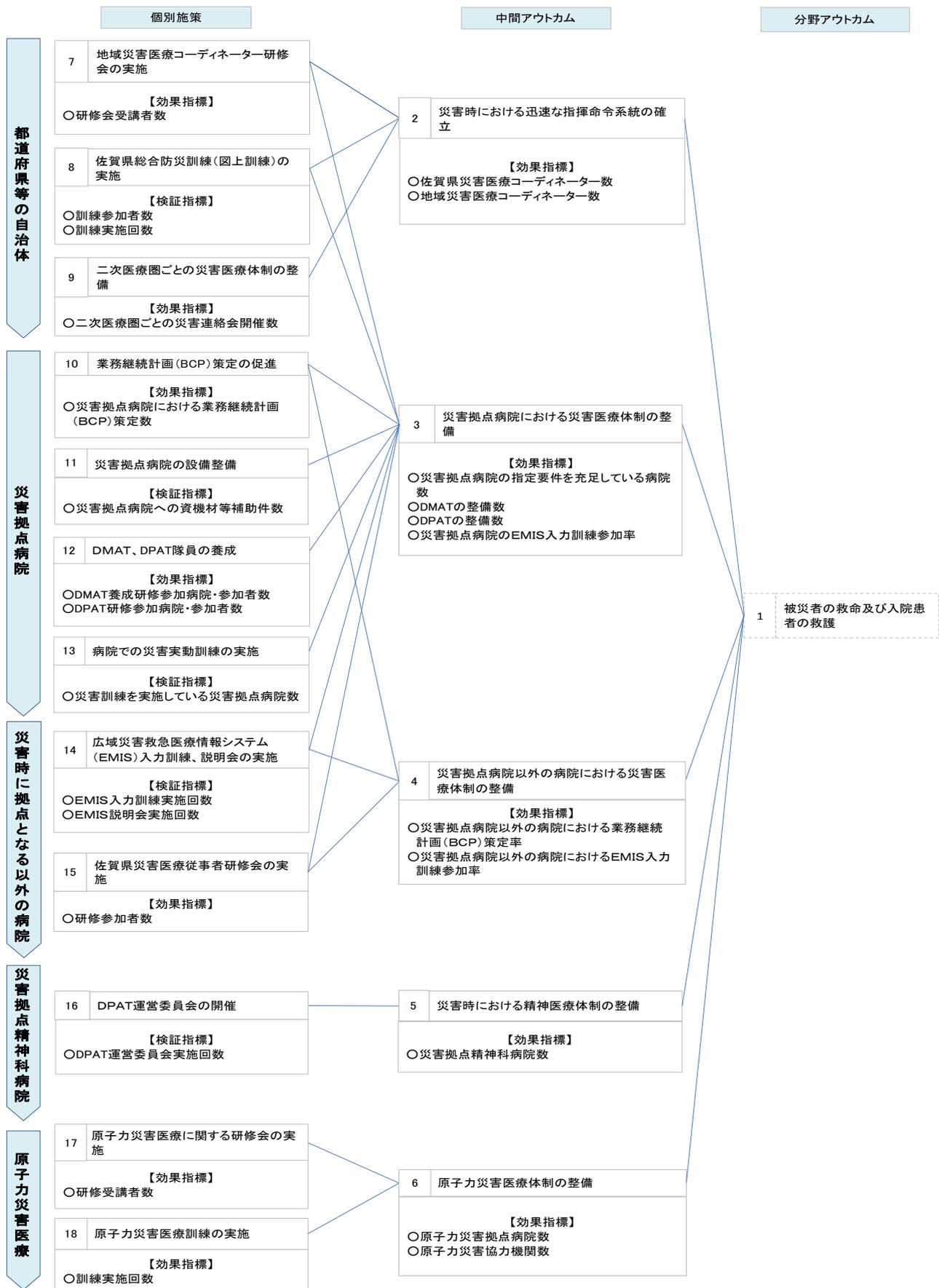
番号	具体的な施策(アウトプット)	番号	取組の方向性(中間アウトカム)	番号	目指す姿(分野アウトカム)
1	DMAT派遣、救急医療を行うための診療、域内および広域医療搬送への対応等を円滑に実施できる体制づくりの支援	1	災害拠点病院の体制強化 指標 県総合防災訓練実施回数	1	災害時においても必要な医療を受けることができる 指標 (検討中)
2	SCUを効率的に運営できる体制づくり	2	航空搬送拠点臨時医療施設(SCU)の体制確立 指標 (検討中)		
3	県内病院の災害対策(防災)マニュアル、BCPおよび職員参集マニュアル等の策定支援	3	災害対策(防災)マニュアル等の策定支援 指標 マニュアル等の策定支援(災害対策・BCP・職員参集)		
4	災害医療関係者の資質向上、相互理解や連携強化	4	医療救護班の強化 指標 体制整備(DMATチーム数、有資格者)		
5	平時から防災訓練や研修会等に参加し、DMAT等と連携することができる体制の構築				
6	「人工透析患者災害時支援シート」の周知と活用促進、関係機関との連携推進				
7	多職種の災害医療コーディネーターの委嘱、資質向上	5	災害医療のコーディネート機能の充実・強化 指標 体制整備(災害医療コーディネーター) 県災害時小児周産期リエゾンの委嘱者数		
8	災害医療本部に保健活動調整本部を併設し、保健医療活動チームの総合調整を行うための機能の充実・強化				
9	発生が予想される大規模災害に備え、指針の不断の見直し	6	滋賀県広域災害時における医療救護活動指針の充実 指標 (検討中)		
10	原子力災害拠点病院や原子力災害医療協力機関の機能強化や隣接府県および関係機関との連携、協力関係の構築	7	原子力災害医療の強化 指標 県原子力防災訓練実施回数		
11	訓練を通じて緊急被ばく医療マニュアルの点検を行い適宜改定、隣接府県および関係団体との連携、協力関係の構築				
12	原子力災害医療に従事する医療関係者の資質向上				
13	定期的な入力訓練、病院の状況を把握し、情報を代行入力するための体制づくりや手順の設定、代行入力に係る訓練の実施	8	広域災害救急医療情報システムの活用 指標 県EMIS登録医療機関数		

災害医療・原子力災害医療

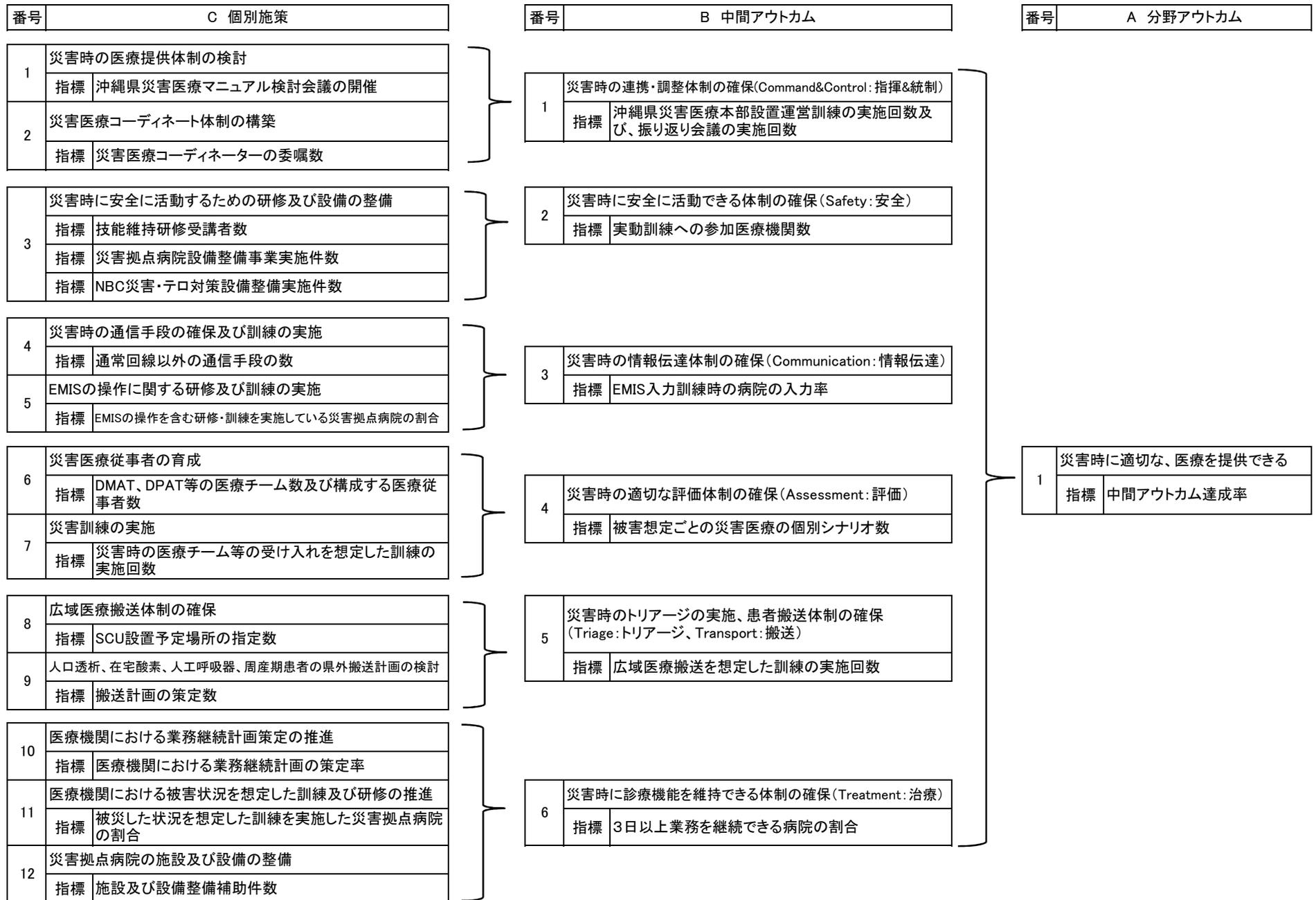
機能	施策	施策効果	(最終)目的
災害拠点病院	1 災害拠点病院の整備 再掲 <input type="checkbox"/>		
	関連データ 災害拠点病院数 → 災害拠点病院の耐震化率 ↑ 衛星電話の保有率 → 病院敷地内又は病院近隣地にヘリポートを有している病院の割合 → DMATや医療チームの派遣に必要な緊急車両を有している病院の割合 → NBC(核・生物剤・化学剤)災害・テロ対策資機材を整備している病院数* ↑		
	2 災害医療従事者の育成 再掲 <input type="checkbox"/>		
関連データ DMATのチーム数 ↑ 日本DMATインストラクターの数* ↑ 保健所長を補佐し、救護班等の派遣調整などを行うロジスティック要員の数(医療従事者)* ↑			
災害拠点病院以外の病院	3 災害時の円滑な医療救護体制の確保 再掲 <input type="checkbox"/>		
	関連データ 業務継続計画(BCP)の策定率 → 広域災害救急医療情報システム(EMIS)の登録率 → EMISの入力担当者を複数指名している病院の割合 → 複数のDMATを保有している病院の割合 →	12 災害時に、多数の傷病者が必要な医療を受けられる 再掲 <input type="checkbox"/>	
	4 災害拠点病院以外の病院の整備 再掲 <input type="checkbox"/>		
関連データ 二次救急医療機関の耐震化率 ↑	災害実動訓練(県総合防災訓練、内閣府主催大規模地震時医療活動訓練、四国ブロックDMAT実動訓練等)への参加DMATのチーム数 ↑ 災害拠点病院と管内の二次救急医療機関や郡市医師会等の関係団体との訓練回数* ↑ 業務継続計画(BCP)に基づいた院内訓練を実施している病院の割合 ↑ NBC災害・テロ対策研修の参加者数 ↑ 月例のEMIS入力訓練への参加率 ↑ 多数傷病者受入訓練(机上演習)の参加者数 ↑ 災害対策本部運営訓練の実施回数 ↑ 地域災害医療対策会議運営訓練の実施回数* ↑ 航空搬送拠点臨時医療施設(SCU)運営訓練の実施回数 ↑		
5 災害医療従事者の育成 再掲 <input type="checkbox"/>			
関連データ EMIS操作研修会の受講者数 ↑ 県外医療チームの活動を補完・支援するチームの数* ↑			
6 災害時の円滑な医療救護体制の確保 再掲 <input type="checkbox"/>			
関連データ 業務継続計画(BCP)の策定率 ↑ 広域災害救急医療情報システム(EMIS)の登録率 → EMISの入力担当者を複数指名している病院の割合 ↑			
自治体	7 地域の実情に応じた災害医療体制の構築 再掲 <input type="checkbox"/>		
	関連データ 県医療対策課及び保健所(松山市保健所を含む)の衛星電話の整備数 → 災害医療コーディネーター数 → 保健所及び市町担当者とのEMIS研修の回数* ↑ 保健所長を補佐し、救護班等の派遣調整などを行うロジスティック研修の受講者数(行政担当者)* ↑ 地域災害医療対策会議等の開催回数 ↑		
8 広域医療搬送体制の整備 再掲 <input type="checkbox"/>			
関連データ SCUの整備 → ドクターヘリの配備数* → ランデブーポイントの登録数* ↑			
原子力災害医療体制	9 原子力災害拠点病院の整備 再掲 <input type="checkbox"/>		
	関連データ 原子力災害拠点病院の数* → 被災者等に対応する資機材の整備* → 原子力災害派遣医療チーム研修の受講者数* ↑	13 原子力災害時に、必要な医療を受けられる 再掲 <input type="checkbox"/>	
	10 原子力災害医療協力機関の整備 再掲 <input type="checkbox"/>		
関連データ 原子力災害医療協力機関の数* → 被災者等に対応する資機材の整備* → 原子力災害医療協力機関研修の受講者数* ↑	関連データ 原子力災害実動訓練の実施回数 ↑		
11 緊急被災者医療アドバイザーの設置 再掲 <input type="checkbox"/>			
関連データ 緊急被災者医療アドバイザーの数 ↑			
		14 災害時に、救命できるはずの被災者が救命されている 再掲 <input type="checkbox"/>	
		関連データ 愛媛DMATの活動実績 県医師会、県歯科医師会、県看護協会、県薬剤師会、日本赤十字社愛媛県支部、県柔道整復師会、県災害リハビリテーション連絡協議会等県内関係団体の活動実績 原子力災害派遣医療チームの活動実績 航空機を使用した被災地外への傷病者搬送実績 県外からの救護班等外部支援の活動実績 ※数値目標や方向性は設定しない	

・再掲している施策等は、再掲欄の✓で表示
・関連データの矢印は、当該データの方向性を示す
・第7次愛媛県地域保健医療計画における新規事業を*で表示

施策体系表



災害時における医療分野 施策・指標体系図



7. 施策と指標のマップ

図表1 災害医療分野の施策と指標のマップ

